

公立高等学校生徒等奨学給付金給付申請書

(申請に係る基準日：令和 年 月 1 日)

☐ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。

☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、岩手県の求めに従いその全額を即時返還します。

☐ 私は岩手県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。

☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

申請者住所	〒		
ふりがな		電話番号	— —
申請者氏名			
高校生等との関係	☐ 親権者 ☐ 未成年後見人 ☐ 未成年後見人である里親 ☐ 主たる生計維持者 ☐ 高校生等本人 ☐ その他 ()		

(次の①～④のいずれかの□にレ印を付けて、申請に必要な項目を記入してください。様式第1号(その3)はすべての申請で記入が必要な様式です。)

①	☐	申請者の在住する都道府県と生徒が通う学校の所在する都道府県が同じです。
		⇒ 様式第1号(その2)【1】・【2】、様式第1号(その3)を記入してください。 【高等学校等就学支援金等(※)の支給決定通知書の写し又は住民票の写し(原本)を添付】 ※1 高校生等本人が日本国籍以外の者で、高等学校等就学支援金等の支給決定通知書の写し又は住民票の写し(原本)を添付できない場合は、様式第1号(その2)【2】ではなく、同様式の【3】・【4】を記入してください。 ※2 高校生等本人が日本国籍以外の者で、在留資格等により旧制度の対象となる場合は、様式第1号(その2)【2】ではなく、同様式の【3】・【4】を記入してください。
②	☐	申請者の在住する都道府県と生徒が通う学校の所在する都道府県が異なります。
		⇒ 様式第1号(その2)【1】・【3】・【4】、様式第1号(その3)を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】
③	☐	きょうだいで、通う学校の所在する都道府県が異なります。
		⇒ ①に該当する生徒：様式第1号(その2)【1】・【2】、様式第1号(その3)を記入してください。
		⇒ ②に該当する生徒：様式第1号(その2)【1】・【3】・【4】、様式第1号(その3)を記入してください 【①と②の書類をそれぞれ添付】
④	☐	いずれを選択してよいかわかりません。
		⇒ 様式第1号(その2)【1】・【3】・【4】、様式第1号(その3)を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】

ア 高等学校等就学支援金 イ 高等学校等修学支援事業費補助金（学び直しへの支援（新制度））

様式第1号（その2）

【1】対象となる高校生等について（記入必須）

ふりがな			生年月日	昭和 平成	年	月	日
氏名							
在 学 す る 学 校	学校の名称	国立 ・ 公立					
		学校の種類・課程・学科：					
	学校の所在地	都道 府県	市区 町村				
	在学期間	年 月 日 ～					
過 去 の 高 等 学 校 等 に お け る 在 学 期 間	学校名	立	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数		
			～ 年 月 日		なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □		
	学校名	立	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数		
			～ 年 月 日		なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □		

【2】高等学校等就学支援金等の支給決定通知等の添付について

（高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次に該当する場合は、□にレ印を付けてください。）

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

☐ 高等学校等就学支援金等（※）の支給決定通知書の写し又は住民票の写し（原本）を添付します。

※1 高校生等本人が日本国籍以外の者で、高等学校等就学支援金等の支給決定通知書の写し又は住民票の写し（原本）を添付できない場合は、【2】は記入せず、【3】・【4】を記入し、該当する確認書類を添付してください。

※2 高校生等本人が日本国籍以外の者で、在留資格等により旧制度の対象となる場合は、【2】は記入せず、【3】・【4】を記入してください。

※高等学校等就学支援金等に含まれる事業

ア 高等学校等就学支援金 イ 高等学校等修学支援事業費補助金（学び直しへの支援（新制度））

【3】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について

（次のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。）

（1）高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

- ① ☐ 日本国
- ② ☐ 日本国以外

（上記（1）で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。）

（2）高校生等本人の在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。

③	☐ 特別永住者				
④	☐ 永住者				
⑤	☐ 日本人の配偶者等	在留期間（満了日）	(西歴)	年 月 日	
⑥	☐ 永住者の配偶者等				
⑦	☐ 定住者	在留期間（満了日）	(西歴)	年 月 日	
		日本国に永住する 意思の有無	☐ はい（あり）	☐ いいえ（なし）	
⑧	☐ 家族滞在	在留期間（満了日）	(西歴)	年 月 日	
		日本国の小学校 の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない		
			小学校名		
			所在地	都・道・府・県	
		日本国の中学校 の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない		
			中学校名		
所在地	都・道・府・県				
		日本国で就労する 意思の有無	☐ はい（あり）	☐ いいえ（なし）	
⑨	☐ 上記以外の在留資格 （留学等）	在留期間（満了日）	(西歴)	年 月 日	

【4】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について

(高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～⑤のいずれかの□にレ印をつけてください。)

生徒本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

①	☐	高校生等・新修学支援等の支給決定通知の写し（コピー） 又は学び直し支援金（旧制度）の支給決定通知の写し（コピー）を添付します。	
②	☐	「住民票の写し（市町村の発行したもの。原本。コピー不可。）」を添付します。 ※国籍が「日本国」以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。	
③	☐	「特別永住者証明書の写し（コピー）」を添付します。	
④	☐	「在留カードの写し（コピー）」を添付します。	
⑤	☐	以下に該当するため、①～④のいずれの書類も添付しません。	
		以下のすべてに該当	かつ 以下のいずれかに該当
		・ 令和8年3月31日以前から 引き続き在学している者 ・ 国籍が「日本国以外」 ・ 「生活保護受給世帯 (外国人を含む)」又は 「令和8年度の住民税が非 課税である世帯」	・ 在留資格が「定住者」で、日本国に永住する意思がない場合 ・ 在留資格が「家族滞在」で、日本国で就労する意思がない場合 ・ 在留資格が「家族滞在」で、日本国の小学校、中学校及び高等学校等を 卒業していない場合 等

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑥⑦の□にレ印を付けてください。)

		・ 【3】（2）⑧で「日本国の小学校及び中学校を卒業した」にレ印を付けた ・ 【3】（2）⑧で「日本国で就労する意思がある」にレ印を付けた
⑥	☐	「日本国の小学校の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。
⑦	☐	「日本国の中学校の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。

様式第1号（その3）

【1】保護者等の収入等の状況について（該当する口にレ印を付けてください。）（記入必須）

（1）生活保護の受給状況について

私の世帯は基準日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助を、

☐ 受給しています

・生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書を提出してください。

・（2）以降の項目は記入不要です。

☐ 受給していません

・（2）以降の項目について記入してください。

（2）次の者の課税証明書等、個人番号カードの写し等（個人番号カード、個人番号が記載された住民票の写し、住民票記載事項証明書等）又は家計の状況が確認できる書類を提出します。

①	☐ 親権者（両親）2人分 ※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者2人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む
②	☐ 親権者1人分 （親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。） ・離婚、死別等により父母が1人の場合、 ・父母が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、父母の1人の課税証明書等を提出できない場合 等 ※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者1人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む
③	☐ 未成年後見人（ ）人分 ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。 ※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の未成年後見人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む
④	☐ 高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1人分 ・高校生等が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・入学当初から成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合、 ・在学中に成人に達した場合で、未成年の時点と主たる生計維持者が異なる場合 等
⑤	☐ 高校生等本人 ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等

【所得確認の対象となる保護者等について】

上記（2）の書類を提出する保護者等の氏名及び高校生等との続柄を記入してください。

（ふりがな） 氏 名	高校生等との続柄	（ふりがな） 氏 名	高校生等との続柄

上記保護者等のその年の1月1日現在の市区町村までの住所を記入してください。

	都 道 府 県		市 区 町 村		都 道 府 県		市 区 町 村

（以下は家計急変による申請の場合のみ記入してください。）

【家計急変の状況について】（家計急変による申請の場合は、記入してください。）

家計急変の理由	
---------	--

※申請後、決定通知書等が届くまでに就職等で家計の状況に変更が生じる場合は、直ちにお知らせください。

在学証明書

下記の者は、基準日現在、本校に在学していることを証明します。

氏名	(ふりがな)			
	姓		名	
生年月日	年 月 日			
課程				
学年	年			
在籍期間	令和 年 月 日 ～			
高等学校等就学支援金等の受給権			☐ あり ☐ なし	

令和 年 月 日

高等学校
学校長 印

担当
連絡先

様式第 5 号

令和 年 月 日

立 学校長
(岩手県教育委員会) 様

振 込 口 座 届

住所 _____

申請者氏名 _____

私が支給を受ける公立高等学校生徒等奨学給付金は、下記の口座に振り込んでください。
(希望する□にレ点を付けてください。)

- ☐ 高等学校諸会費等振替口座を希望（県内の県立高等学校在生徒のみ選択可）
- ☐ 下記の口座に振り込みを希望（申請者本人名義に限る。）

金融機関名	名 称	
	支 店 名	
	種 類	普通 ・ 当座 （いずれかに○印を付けてください。）
	口座番号	

備考 高等学校諸会費振替口座以外を希望する方は、口座番号等の確認のため、通帳の表紙の写しを添付してください。